



## ベトナムのスポーツ事情 ～ベトナム人はサッカーが大好き～

北陸銀行 国際部  
ベトコムバンクトレーニー  
中野 峻介

### 1. はじめに

今夏開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、多くの日本人選手の活躍もあり、明るいニュースとなったことでしょう。

ベトナムからもオリンピックには24名、パラリンピックには10名参加しました。オリンピックでは惜しくもメダル獲得には至りませんでした。パラリンピックのパワーリフティング男子49kg級でレ・バン・コン選手が銀メダルを獲得し盛り上がりました。

今回はベトナムのスポーツ事情についてご紹介したいと思います。

### 2. ベトナム人はサッカーが大好き！

ベトナムでは老若男女を問わず、サッカーが大人気です。ベトナムの国内リーグは1980年に設立されました。日本のJリーグのようにVリーグ1、Vリーグ2、ディビジョン2の3リーグ制で成績を競います。また、女子リーグやフットサルリーグも存在します。

元々ベトナムではテレビのスポーツ中継の影響で欧州のサッカーリーグに人気がありましたが、近年は、ベトナムナショナルチームが強くなっていることから国内チームに対する人気も高まっています。

ベトナム代表戦が開催される日は街なかの飲食店やパブリックビューイングなどがベトナム国旗の赤一色となり、ベトナムチームが勝利すると花火や爆竹、車、バイクのクラクションが鳴り響くなど熱狂的な盛り上がりを見せます。特に、ASEAN諸国との代表戦は応援に力が入ります。

### 3. 日本は「侍」・「撫子」、ベトナムは？

日本のサッカー男子代表には「サムライ・ブルー」、女子代表には「なでしこJAPAN」といった愛称がついていますが、ベトナムの男子代表には「黄金星の戦士(Nhung chien binh sao vang)」、女子代表には「黄金の女子(Nhung co gai vang)」といった愛称がついています。男女のユニフォームのデザインは多少異なりますが、どちらもホームカラーは赤色で、愛称・カラーともベトナム国旗にちなんだものになっています。また、ナショナルチームのスポンサーにはベトナムの企業の他に花王、ホンダ、ヤママー、エースコックの4社の日本企業が名を連ねています。

弊行が駐在員事務所の開設を予定しているベトナム南部の都市ホーチミン(旧名サイゴン)には、「ホーチミン・シティFC」、「サイゴンFC」という2つの地元プロチームがあります。サイゴンFCはJリーガーの荻部隆太郎選手らを獲得し、日本サッカー協会の前技術委員長を務めた霜田正浩氏を監督に抜擢するなど、チームの補強に力を入れています。

2020年4月には東京フットボール株式会社(FC東京)と提携し、日本式のクラブの運営ノウハウを取り入れています。ソニー、ENEOS、日本航空、JTB、ミットヨなどの日系企業がスポンサーとして参加するなど、注目を集めています。



### 4. おわりに

最新のFIFAランキング(2021年8月12日)では、ベトナム92位、日本24位(ちなみに1位はベルギー)となっています。10年前の2011年8月のランキングでは、ベトナム129位、日本22位でしたので、ベトナムはここ10年で大きく順位を上げています。

FIFAワールドカップ・カタール2022のアジア最終予選では、予選グループBにベトナムと日本の両国が同組で入っており、2021年11月11日(木)と2022年3月29日(火)にベトナム対日本の試合が予定されています。同グループにはオーストラリア、サウジアラビア、中国、オマーンも入っており、ベトナムはFIFAランキングでは最下位となっていますが、初めてのワールドカップ出場に向けた活躍が期待されます。私も今から両国の対戦を観戦するのを楽しみにしています。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内)  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp